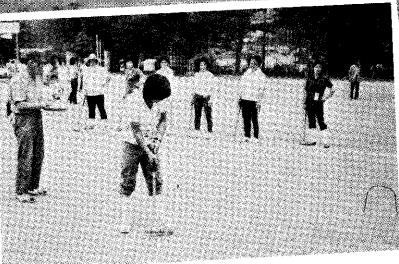


苦戦の連続でしたが、健康と握 だれでも気軽にでき、楽しく脚 です。5名づつのチームを編成 です。6と でがかれ で紅白に分かれて、です。人員は1チルは我国で考案され たが、健康と握手かってくれず悪戦しました。思うよのチームを編成しのチームを編成しのチームを編成しい。 心がけましょう。 本語 では できましょう。 性ん。軽い体操や急いで 体力の低下を防ぎ、 は 付力の低下を防ぎ、 は がっため で がら始めてみませんか。 ながら がってなっても 運動がで で 食事時間や入浴時間を かってなっても 運動がで で まぎている」ということで がけましょう。





昭和54年8月15日発行 第237号

新潟県松代町公民館

電話 松代 7-2301番

印刷・松代印刷所

(1)

貧 (血予) 食事を考 え よう 11

鉄 (Mg) 女性の一生と鉄分所要量推移 25 -若い女性 妊娠炎期 漫,即 妊娠前期

で す 言 グ液う ロ中でて貧徐 いどの す 血々 ン赤が بح \smile とい進 の球そ考 行 う つ量のれえと ब が数はて る り減や まい血資 血っ血ちる液血 のて色が人の 薄い素いが量 いるへで多が 状状へ い少 態態モ血よな

でな気痛まがのって素 酸輸 が 0 ていを血 す 素送貧ま体 の続疲 状なや悸足十状 、の分態 をいす とみ え顔 る色 よが欲 にぐなままなと なれいいす n 、、、。、酸 るな

まひ慣 どく 状た あ診かせ れ でなん い。ないのいて くせん。 ですかってすか るま きたつい めとの で相 ら自当 ょ る く本覚に体しは いあ人症貧のに徐 うりも状血方進々 そがのがんに が献れ現程そで進 少血とわ度れきん なや気れがにまで

てそもい 症かれ動不が血すの素 ゚゚゚゚゚゙゚゙すは `い息状行にのず肺 な血 、切態なな血みか 食れにえり色にら 、ななま素運と うすがめりくすがぶり 少役入 な目れ くをた のい根頭つ体素なし酸

ŋ う ま ਰ 世 ま血な 7 ま出鉄たで原女んされ やが娠液はに 、を、貧 量出失や血 に産 っはが とのてり多 らとい毎い れきる月か `にかの 1

> らは のけ性 差れよ はばり 閉な一 経ら・ 年な五 令い倍 まの近

栄 ②日るしなの日新十 状養鉄 そ必B てるた繰し分ま態 状 バ た こ 態 ラ も と け貧全が血身 あ でけ貧 めりくのたのンのにりなにか作一血改スでよ、く 分の要12造 タ 不はの 足 食し単養事でに状 進質 す ゚゙゜そす 性 食ものでればと、全にがのこれである。 き分を しる 食も てビ は、は、は、なくし、なくし、なくなくし、なくなくし、なくない。 とり いまそ 毎 先 身 いいまん しょくしょく はんしょく はんしょう はんしょく はんしょく はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんし 液破い シ 鉄中壊 すの日決の栄れ間にっパよ ン分成 。分百で栄養で続問たり 毎が二す養のきく題も質 分新 がで 毎あそと生毎が

率物がと食し う え ち VC 予 鉄 段き っと防分 てろ上、が りう階ま Ź. こででせ が っは同もはん腸鉄特っ ` ` ` ° で 分にか さに胃鉄そ一は大り らと腸分の○、切と っにるのがう%他な

鉄分を多く含む食品

回 使 100g中鉄 食 品 量. 鉄含有量(mg) 安 含有量(mg) 1/4 8.0 5.0 豚レバー 1 6.0 切り身 1 切れ 5. 0 鯨 赤 身 5. 0 100薄切り3枚 3.6 年もも内 100 3. 6 1. 1 6.3 18 1 切り身1切れ 5. 0 1 0.0 50 ナマリプシ 3. 0 2 尾 イワシ丸干し 1 0.0 30 10 2.8 サ 8. 0 30 2. 1 1/2٦. 1.4 150 豆 1/3 束 3. 3 100 ホウレン草 3. 3 2. 9 2 杯 大きじ 2 9.0 10 2. 1 2. 1 1001 __ 1. 5 1 カップ 5 0 豆 3. 0

忘 C かに回の用色ンこ分まのとれのら吸鉄多す野草のとす良を す良を 菜 `条同 て多ミ収分いる カさは食たに小件時赤のがけるが ンれビ品め含松にに身タけ有 とにま菜びタの組まれ、マン角 ややタ ンて効が用 り まして 組もれ っン魚パいにあさ レすミ モいンみ る 大たパやクたとりれ C合必鉄根りク肉質だる 正ん時ン形 になにがわず分葉で質 きた ٢ 変あせタをなすも卵 سل 胃い とる ___ まン有ど 多な諸いに鉄に ビわる 低レ足度収分あき腸生 のがはば、の動物はない。 タりと すパ効のホいどにの次分な ح ミま非 لح クに緑ウのはと でのをっ 質利黄レで鉄りすとでて き適 ンす常

タンパク質

ら生一

17

と 胎 大

血色素をつくる

卵、肉、魚など動物性のものがよい。

血色素をつくる レバー類、海草、ホウレン草などの緑黄色 野菜、干ブドウなどの干し果物、ゴマ。

ビタミンB12

造血を促進し悪性貧血にもよい レバー類、カキなどの貝類、粉乳、チーズ、 卵黄、魚の血合肉など

造血促進

レバー類、干し果物、ホウレン草、 アスパラガス、キャベツなど。

ビタミンC

造血促進

新鮮な野菜類、果物類

す腸乱足り

ス

レバー、スキンミルク、ホウレン草、

をト不過吸にでお

さは生睡よされせ胃活眠くれ

ま鉄ががく

分

夫

7

度の運

動

0

バナナなど。

れな て栄レレ が養ま素 ババ調血 理予 すがははの防 の豊造上ポ食 手ィ・ 富血 にににン 貧含 必 血ま要

(2)

いす予 が防 カゞ 多 ーをおい-にだきたい-ならない! < Z も ィ の の イの 12 で わ です。 食で た ち す 毎日 つ で a献立にして でとらな でとらな

くしま ①臭みをとる (レバーはないただきた) 分 つバ たも ・は色つ を買 Þ の買や < どしら ます いべ いる 肉 コ Ž のッ ょ は

<

水@ る K 遒 つ けて大 三十分に 程切 血り、 抜 冷薄 をい す塩

乳 7 Ш 抜 きし た レ バ

ロ © リ 玉 カ レ のね けてお、 葉 ぎ お ニ ラ**、** 15 サ تغ Ż シ シーシ ねぎを入れて、香辛 諸にゆっ でる。 粉 を 乜

ょうゆ

Ó

中に

おろし

=

ク

分くら

5

け 玉

てね

少な なら 塩分 レ味の をバやし バつ 配 し肉 た料 け 慮 Þ のに ₽ 7 使い、 では工夫には工夫 H ご いに に慣 を < 。する 툿 薄い n 、な 切の < 。 慣い りで す るに切 甘れ人 する。目 味ては はき

を生 手 @ ts た 加 つ かしましょう Š Ď T りす 使い 食 季ゅ らず、 節 λ 0). 味や香! の食品 り を入

うンめ 。、に、 **(D)** 食欲 や胃液 ^こ 香 の辛 使料 (1 P \mathcal{O} 方を考えて飲味食品 () める ょモた

習慣で出発 ①朝ごはん 朝ごはんを食べて、日常生活上の注意も 日を 13

は、 すの ランス ズ ム 日に 三度 朝食 の と 0) つ は た n 食習 規たり 日慣 正事 の が しの ス必い前 要生活に Ħ

> い 基生 て点活 0 度ズなは の乱 と にの一合で日 そズ ħ のがは 朝 であ IJ っ ズ食夜 のる場合 ムの の の 過 そ だ欲 ラズご かが 0 んな、 しが多い 人の朝起 の大の は がない の る 朝い

② リ とに る っす

の働きすぎや睡眠が大切です。 が大切です。 が大切です。 の場合、ます。 婦に 過 貧 ં૦ 筋肉労働はないの労働はないの労働はないの労働はないの労働はないの の労働は貧いの労働は貧いの労働は貧いの労働は貧いの のが水長多田 単作 婦な あ 0) (血質) っ地で帯 お 人 П 、す。**適**幸人ほど貧血に ・ていま りま 復 を いの す向を 農家 図 る る婦婦 する 。の農 度に 人長 ζ との落又主村にし

毎不 B 足 規な 顚 تبلح 正に いる

づ す B 運の 動 を きを

国民 健康 保 険広 報

健康 づ ŋ に 取 ŋ 組 h ま す ?

行生 一 明 一 日 次第 ます あ体っ操 も今日から 7 で つ た てますか。さあ、あなたの家十分な休養ということも実栄養のバランスのとれた食いつでも簡単にはじめられた種がは、あなたの心がまえた運動は、あなたの心がまえ 栄い 養つ動 6 ま マ で ラ は遅 健康家族の仲 ソ ン などあ す 、ぎます のな ってとも実 しんがまえ なたの体に 入た

15 た 目身 Ø 康

とう

心 配 ب لح 相 談

れ題 7 りの和 ま他 した配見を らさ間

とこ 松代 午每前週 十九金少一時曜 林時か日 寺半ら

相談 伯談下さい。れていることがあり選・老人問題・その選・老人問題・その まで

の一員であるだがたさに気づくがたさに気づく

づくようでは遅すぎまてはじめて健康のあり

aあなたの務めです。の日頃の努力は、国保の日頃の努力は、国保

は

る

り \/

()

のため 今

あ

に何をしてますか。散歩なたはあなたの健康づく

康管理に

実は

7

いくも

のな

のです。

っあ

の

健康はあ

な

目身か

つ

るも

たのが

秘

密

守

•

無

料

で

7

行

以外

人が責任をもってかにありません。健

あ

な

あた

た健

つなの

法務関係 の 特別 開 相 ż 談 日

八月三十 日

特明 人別る日 相 い頃 かできるよう、今年の心配ごとを解決 総合セン こます ø 決し タ •

さに 庭内 11 心ます。このこと 権 侵 舎問が の ので、気軽におり損害賠償等のご 問題や、土地が設けられた いで下いる。 (1)

りの

午後三時まで開設総合センターで で、 U で午 お前 りま か す ်ဝ

稼 組 お合 し総 会の ら せ

出

すから組合員の皆さんど出席下さい。 記 により総会を開催い 、たしま

◎ 〇 日 町総合セン 1日二二日 夕 午前 三 九 が階時

ります 講下 総会終了 通りっかかっ 後十 み は よ らさんもの講演 څځ 聴あ

| ★価を 不価をめ ぐる農業情

農業中 池垣総合企画室長

師>

(3)

標語松代町優秀作

手をつな 家族みんなで歩こうよ ž

悩まず 友に家族にすぐ相 17

淡

話し合 今日のできごと悩みごと

一愛父の きび

Ø

青少年健全育成 明るい家庭作り

家族 \mathcal{O}

計九二点で生徒の部一点では、小 みの の育 なさま 関成地 R心を高い 場合 場合民 揚を から応募い \mathbb{K} 学校児童の る とを趣旨 地域 庭が くり ぐるみ ただきま 四 ٤ で意識で 五 した て、 点

点 議 た 譲され、松代町の優秀作とはた町青少年問題協議会におい、標語は、七月七日開催され 決まりま ありました 0 佳いれ て審し 作

出 5 選出されまし 域青 秀 7作品選出の記念策推進協議へ た優秀作 審会 12 査に 東頚 を提

う り ど応募く tž

礼協さ いました方々並で標語募集にあたり あだだ たきまし びに、 た方々 募集に ľζ 犀 ご 御

 σ

恶

優秀作 小学校児童 佳 幸作 手をつなぎ か 手作り ごちそう家庭の口かあさんの (室野小六学年佐藤一弥) (室野小六学年)家族みんなで歩う ・三学年小山義明)ごちそう家庭の日 小を 堺新よ

(莇平小三学年

-人口のうごき 8月1日現在

1.920 (-2) 世帯数 (-8) 3,682 人口男 3.748 (-2) 女

死亡 出生 6 転出 転入 減計

優秀 学校生徒 \mathcal{O} 部

悩

(一学年) 大に家族に 小す \chi 島相 (美惠子)

野

佳作

暖

か

6) 一言集あ る نج いれ 村食る 卓

一学年 草 邦博)

若月三郎•

高橋京子

お は Ž

笑顔に (二学年 っとり 今日 \blacksquare 0) 治野)

高等学校生徒 0) 部

優秀作

今日のできごと悩し合おう

みごと 初男)

(三学年 上

住作

考えよう

人の迷惑自 分 高の 沢わ 美代ま 子ま

信 頼 が心を結 S

族

栄子

優秀作

母の 愛父の きび

徒の部二〇点

九点

0

点

部高八等

点 学 • 校

(室野 家族のごびしさ 和 渡)

佳

作

話し よく 聞 く 家庭

10

の心者 がふれあう 記名なし) 育つゆめ

が 高庭れ 橋のあ

と子

(室野 H

渡)

~ まり、 では下さい。 よく聞く家庭に育つゆめ、 一般の部佳作の しょ 8 話 部にし

役 場 社 会

代

町

秀

作

•

佳

作

作

品

7.430(-10)1 1 1 4 2 5

戸 0 窓 か ら

七月受付分 (受付順)

おめでとう



おお かでとう 善宗塚住宅 松代

藤本麻美 人 長女父令朝雄 母芳江 室野

堂新

 \blacksquare

蕪木孝之 父繁夫 長男 松代 分 PΓ

母久枝 父修

関谷由香理 母和 子 長 女 あ蒲 き生 κ

市 Ш 誠子 父英世 長女 松 代

久保田 織音 母裕子 母清美 父吉則 長 奵 善 宗松 塚代 住 甚 宒

堺み 母広美 父隆幸 <u>_</u> 女 蓬 五革 郎 作

賀理恵 母喜代美長 父茂 女 小荒 杉戸 沢

牧野えみ子 父紅三 母惠子 女 - 松 平代 \mathbb{H} 屖

関谷貴子 母美代子二女 父昭栄 松代 辰己

<u>(</u>お 死く t やみ

鈴 関 福 堺 藤 池田清 五 州 佐藤 キ クハ ハ カ カ ア メイル カ ディスタ 山高岸橋 若山 新 シ 麻 五六八八七六六八 九五〇七二四七三 0 オオオオオオオオ 蒲生坂 蒲生善の 不 生善の 不 出や 室野 室野堂新 山城屋

(4)

3 11 あ な //

く てゆ 1他人とのつきあいな-Cは挨拶から」 の人と人とのつきないけません。 しん

るは るとさえいえます。は「挨拶」に始まり そ してこの にあ 終い

まのの 年なことば、ほのありませ、 でんつ

ح ك 6 ハもあるようですごれて挨拶」をする。 にはよ もあるよ ま いてとなの ょ Ď で 争 わすり、挨拶すか す

(朝)

と日 いあんばいないまで気ではいるにあばいるいまで気である。

お早

ようござ

6)

です

61 ですね ね

> まいおしめぬ雨 (雪)はい g 方 夜) なりまし り で P で た ねね

あ精りが ど苦労さまです(…… きに ぎら さき でますね 17 いれん かえるとき さまです 失礼 します)

Ċ す すね

うん かば

とう (……どざいました でした)

> さようならおかえり 7 ま きま き

か

えっ

き

まだいろい おや すみな ろと 3 あ るし で・ しし ょ・ う

どなたに対 て も至 極

は

Ė

分

から

4

7

慣

12

り

にな

気

楽

で

挨拶を仕 ようと することに いう積 損 な U 意 極 て欲的 り まバのに すッな自 ҈のい分 限の いり方 分 思 か 6 いつ をい

ように , け種 し的 ょに う自

はよう」 で始

からる • 松家代庭 づ 宮沢 り応募で

ざし話 百年記· に発足 人ク の計 施するこ 画話 ラブ 念事業と名命 U は でも とに あ しが あ ちらこちらで まし お ありまし 宮の森 た。 た。 づ で で植林を実 そして明治 の再生を目 寸 [年間植 儀孫の 老

40 K りつま四 長ぶり した。

は 老 ラ の な は 長 と 地 沃 り

記

服育 し成 を 老 六月十 恶 ただ てい U ク こた杉を背景にクライ日下なぎのとも ラブ たいて実施してい ブの男子会員な るところと、 クラ (からご協力とてめ ŧ, 小杉 W ブ ま 員 立派 \varnothing 幸広の一に

うだ いさ ため

ŧ

を力

ラ

ま

ー こ入ってとした森林で

年に

の樹令で古

E

一百

クラ

は昭

和三十

九

年

しまし

よりそ

老木

しまいいの

LELL が、 の事業資金として の事業資金として をはじめ、売却 をはじめ、売却 をはじめ、売却 にいたので、売却 にいたので、売却 にいたので、売却

て

使用

したのをはじめ

が進めら

れて

て部落

の事 まし

西の ら約三百 でた が、地宮の外 ば は現在への事が明明の変 外というところにありませの住宅地よりずっと北年の年月を経ております。明部落は部落が建ってか というところに す うに移 っで まいります

地帯に居住当時の神社附

あの社のでり か林財 郡 郡 す ら 多 額 開 にな を っ通が で代採して投いなる で投資する がなお不足 の全部は部本 に投資する は雑草し て巾三 る を う以 五 落 ح 7 有 上 林にりいし さ落 おかました。 が実施 た。町 にので でな ある りしの ŧ そのあかの体に

(会長

小堺元之真)

1. 求 た 置 者 の がのさ 出れ援へてま護戦 請し措没

例(が金昭ち年) ・ では、一障害者遺族 ・ では、一障害者遺族 ・ では、一障害を ・ では、一障害を ・ では、一障害を ・ では、一障害者遺族 ・ では、一時害者遺族 ・ では、一時害者遺族 遺場気こ日を展 特 け年ら持

がる実 昭場上こ **(**C 第一款症平病死年金」の作該当することになったに該当することになったとの手を付け支給されるとはも併せて支給されるとはも併せて支給されるとはあられている。そこで、この父母を含む。)及びこの年金は遺族の妻、父にもがせて立給されるとは、「障害者に該当することになった。 ださ (v) o の父母及び孫がいなことになることになることになることになる。 の請求 すい事 をはび ts

- なった。全 そ持後 のち
- 合は請い年金」
- (4) (3) (2) 「あ鉄かにっで40 期 7 求し額の」はこさも平症 し「孫り遺る軍りおたの年間月昭行てさ額な請れれ「病の昭 て 第にま族場場、け戦間10 に 31 和為支れはお求に入留み降 和 / れ 1 傷病内 て、い昭和 る日 のた か遺者 内象 30 ح 一族 で地と日昭 こ28 で満か等なま和の年 £ 5 族 (C
- りおた の年間月昭り る没に 月死日21し \succeq 防れ勤 ま年た 1 2 -C に日法 かたの月 事り 華のら妻間 者死連事処54にに日 等亡し変遇年つ再か して間の 9 い 婚ら た傷の対月 者病内象 30 てし昭 に地と日昭 28 ک で満か等なま和の年

●年金額の引上げ(54.7 実施)

措置として行う(3.4%)

(月額)

25年年金 37, 925 円→39, 225 円

10年年金 23,925 円→24,741 円

5 年年金 17,508 円→18,108 円

(8月から)

20.108円

金

0

1

5 3年度の全国消費者物価指数の ヒ昇

率に応じた年金額の引上げを特例的な

(拠出年金)

し年は 金 が和 支 54 給年 \$ 10 れ月 る 1 と 日 とか

- っ上 った 「遺族年金」。に場合は、昭元 は、(5) に、(5) の 和 請 54 当 求年す を10 る し月 ح て 1 と くった
- (合戦だ以 法傷さ降 たさい。 人で 取傷病者の表 妻に . 対 する 別

(1) 降請 さ 症 症 9 千円 万円該 。和償 54 還 ~ ~ 年 2 (特項) す る 月 よ症症 ح 17 ع 1 り 日支 Š i 忆 以給款款な

- 年 4 給 恩 し 2 て 月148 11日までの間 11日までの間 1日までの間 に障害は 障害年金を現立している者の と、昭和48を受いる者の を増加54。54年
- す ح な障に以した っ害 戦傷を 病 初 加 54

3. 現者 る昭 年. 10 月 1 В

- 支 [] する 特 别 弔
- (1) し 還 つ た場 K ょ 台 りに 支給 12 75 12(2) 電方に れ円該 まか当 す国 の債 で請6 ے 求年に を償な
- 族 54 金 に月以 の年等遺1降 5 の族日の 5
- (1) (1) の (2) の (2) の (2) の (2) の (2) の (2) の (3) の (4) の (4) の (4) の (5) の (最 日 先 現 在い 31 位生なるでは、巡査では、のでは、 では、 はでに公務扶明 でに公務扶で、 でに公務扶で、 でに公務扶助 が)の遺族で、 が)の遺族で、 が)の遺族で、 が)の遺族で、 が)の遺族で、 が)の遺族で、 はでにいる遺族で、 はでにいる遺族で、 *名い 族 54 助 訳監 等 の年料昭通生獄(日から)の和訳、看旧
- だ不の さ明遺 σ は範 に順

例 ス ラ

国民 年 金 法 改 正 1 1

ま

します。国民年会 から全国消費者物 がら全国消費者物 は三・四パーセン は三・四パーセン は三・四パーセン は三・四パーセン は一では年金額に では年金額に がったとになってい がったとになってい またさ すのき 青なっ なっ な る 額 ヤ 一スライドが一セント・行費者物価一セント・ でいますが、今でないますが、今でないますが、今であった。 でントであった。 おも民年 たイ が上 た。ところ ですることになり 考慮して、特例 世界では、昭和四十八年 をでは、昭和四十八年 をでは、昭和四十八年 をがい年金額の改正を をがい年金額の改正を をがい年金額の改正を たがい年金額の改正を ところが昭和五十 たがい年金額の改正を たがい年金額の改正を にあったため、法 É 物経な法率十を

という大中な を額が○○本年を を額が○○本年を を額が○○本年を 一ケ料額物○○本年を 一ケ料額個○○本年を 一大中の改定を 一大中のなた。 酢い セに 改定を と同 トり を出て金は、すべて三・四次出年金は、すべて三・四次出年金は、すべて三・四郎和五十五年四月分から、四郎和五十五年四月分からはなとのからみで、さらに月をした後に、八月分からはなとのからみで、さらに伴い、四部和五十五年四月分からはな、まおむねニーパーセントからはからとなりました。これには、すべて三・四拠出年金は、すべて三・四拠出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三・四級出年金は、すべて三、 に改お○和 との 万 に給 で上げられます。 で上げられます。 で上げられます。

障害年金 1級 48.133円→49.791円 2級 38,508円→39,833円 母子・準母子・遺児年金など 38. 508 円→39. 833 円 ●老齢年金額の特例(54.8実施) (最低保障)

- 16,500 円→20,000 円 ●保険料額の改定(55.4実施)
- 定額保険料 3,300円→3,770円 (福祉年金
- ●年金額の引上げ(54.8実施) 5 3年度の全国消費者物価指数の上昇 率を大きく上回る引上げ 16, 500 円→20, 000 円 老齝 隨害 1級 24,800 円→30,000 円 16, 500 円→20, 000 円 2級 母子・準母子
- 21,500 円→26,000 円 ●本人所得制限の緩和(54.8実施)
- 夫婦収入 200.2万円→208万円 ●公的年金併給限度額(54.8実施)

37 万円→ 41 万円 たれ緩い限所本さまげが; 。ま和てに得人らしら年 しさもつ制のにたれ間

 $\langle 6 \rangle$

きかでし

つつつ

たてト

。いル

もとら

るぐ

、わセあれな終ま

`草 て でい学大る校 草 ŧ, つ で 事 勤 そを学直た

でって終十

一りてりれり取たチーに前る

たたに所はし

で取っ取うよ草っンといかわう

うや家もしもりº°メ取にの後

。な言だ五 っ見っ。十

てんと。 いと、そっチ ・ ・ ・

の思しと

てるた

っっいたく少ルとなあ十

っ。十た

セ

: しっ抜 使 全 な え校さ最家 てた < 草だず除れ近庭 ш — 機ま竹む 4 うりのかは あな れいきは が を を 生 を 生 を ち の り っで鎌中見え いさ 7 のま もっ十校しら 17° : そ取と分のが//

し明りはたっに

つ

いっはった

にぼ日

っじ

° 5

いたい

てわゃ

ろたん

はしが

`が死

てうで

売園も

気へう

だか二

っよ年

もち

上 よん くも

し言の草乗草、た

上

とん自

`Ø

3

んやきる

。明よか母で

ഥം ഥം

一たん

کے

りは草は言が転

`取くっ

を家りそよ理な仕頭だ 教族まれり化い上でが機 えのせな人はだげ考 良ろるえ自がと掃は、 け、 し、う掃、分ゴつ除集 ほ員かの性し 、 対がとか除エのミ 特策そす。こ夫手を いし特策そす°こ ものも なる を なる を なる 活本な そしで吸 41 で でっ庭えわのの来が体とすとによれの簡のらをる 、素姿き動の 働あ うる っでもそ化なれかも とてはのれ このいし掃 とはあはに合でに

さつまいも畑 の草取り

淹沢分校6年 弘幸 佐藤

まはまけのセ でのま 、所し七 でン草 こて、チ取初といそ初ぐりめ チ取初 でた月 こるれめらをは草家十 ぼかがはいしや取か日 くら糸びのてだりらに はおみっくいなを歩 わかたくミるあすい畑 らしいりズ時とる ての しがに思畑十草 っくな てて草ま出 いが分取 しったして二ま長くり まわかたき十しいらをいる。た五たのいし

こってん草 し うてくだ取 ときるんり。 したとあを た。草せし けぼがって れくきて指 どはれきが も、いょかのでもれ いまつ あと取たれ せかれ っ落なあと てちくせ

: つ

田植え休みの 最後の日

牧田

里子

峠小5年

° * ¬

がてわん大えに

るそんな

°のま

ま きと

まくたおつたは丈

あれたわんしど

がうてく

`くち

ぐいとゃ

て

夫持て

きをいっそっい

って聞けあ

てあまし

大そなて

っつし

っではんだっらい何

を割っと

ャかでの行けら `もは 今う しだっに ッく チらまかたは最まいな ボいいらのい後でやえ 、はき日生じ取り 隆、ま日生じり ま ルらし隆 た 之いせにけと で といんなん思す。ことは、つかなんのでは、これで、 らかそ の人れ てやまっ たく ま 遊でど 行っしな かたた。え りドびつい

る 家気「らっ」ん んてじくとじに持あいとは、手でいいと

きいはちりかきたか伝い

、 ちいががたたいたいっ 里ゃろいとたので、がて

فَ ると

分

でうてとか、かったほう

男ゃろいとたのて だんうっうきまく

はてけ、を

ゔ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙ゔ゙゚゙゙゙゙゙゙゙゚ゟ゙ゟ゚゙ゟ゙ヹ゙

すけも

なんし取

かり今

げこことの まロもいや なん まううやでおせのけ遊な山いだ あペドなおいし前かタ私 いタロげてちまにらにが私 なったば でををば い の向いおい `さが `じんキんんもへわかし で す こにだつっゃし私 でもらけてんたはすドけな のじち 、が。下。ロびげ < < 。ロでし私向隆をおのまた がすたのこ之向じボしと とと私 でいゃ ちん °°かうがきいしたき こがおゃが うちル んなじんい いで私みをお てものの向こなゃが隆ア どげいにっ い隆か毛くらえんく之ッ はてちしし る之みにとれ取がっのし やかょ のののド隆 りにつホ思 之まんらに でホ毛ロ之おをらいッわ がたがれい おッはをがじ、むたぺず な向向るた

楽し

ついがいかんわ

< 1)

なん

かと

°ん

三日

かと続ち

つきかゃ

寝いっの

たちたそ

りんわな

きゃ

これ 気年は たい たに 生長 じ

° かの

て、

とよ

でた

たのだん

こと思

をつわっ

いてたう

ぼそま

うれれ

いし

きん にはた りで八な重し

っんいまのて病

悲いきん

がた

とんわ

思なたじ

うにしい

とやはち

ていいは

もじ

さおゃ

もん

っ死

た働私田らまたを いい達植べいい手私 てのえてっし伝は 思くたかおて っれめら父しカたた さまにだっ てまに いす 一秋んいはけた °生のやま食なの す本けいおしわの四 °当んね母たれに日 に命かさ。 る `間 歯りんそしこな あ日まはれとしえ り毎で春にては取 のくもいり が日



儀明小6年

小堺

2年がすぎて

広恵

いまで るでも強 30 ° \$ じわじ いたい ちしち やの や ん心ん がのは

(7)

な

っれが広

。に開る

老 人会 エビスクラ**ブ**会長 松代山岳スポーツ少年団長

いて

で っで す て まて

老は 촳

余る。おり 参な行士 か列かわ人のにら車 山て っ。 十東 東 直 京 音 音 音 音 たと で まは の面影なの面影ではあり。 ではなあり。 ではなあり。 ではなあり。 ではなあり。 ではなあり。 ま急 しにはにの峻 °i 。湛尺て残東 一姿な る命 、其ふ余指濠西東で桟 往 が名古形中

よる一ル点記に関系で は一ル点で載のmとが と 事 り 台 帳 言 置 大か لے りれ帳記いい

たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 たり、なく」 でた考大か者人つら樹 えんだん えんだもちて門花 てただもちて門花 大変有におび かたま、いたまたい。 人なはいをいしるな難 でにはい車と願 歴 山 。 かでこ来 登つぎし史頂 得をい足きがた 見 三がてのる よう 논 3 でかマるれをっ これなるによって っ練は思 `多名 ₽ っムのなして てと言い登数のとないもえ、 たシがかの な誰が生辛 61 っん風

人考のこ の点あ七西残道 もえ式こ〇近傾 人なゴのにり必とト ポい汚が ۲ 12 モナッ を イン 。てなおて水し袋然口年たこあ ン団いとる。 らけは田てに ٢ 美なばごに欲ゴし袋でと しい誰め しまてをは思ある い。かん空いをいー、うるう山そがでビと詰る枚い。。 (8) 。入つ私ゴ点

にれしあン思め

ち所り 山にで 伝あ自の て歓きえり然山 教ははな びの遺 招財にりの 待産な 文 とがさでうい化 きしれあ青て遺 きてる。 少い産 あり 。 年ので た場あ っに感

はく

新有権者感想文を 募集中

挙 理 委 員

ま で自 す 有省 のる 感い 忽想文を募集してい選挙推進協会主

たは

び松

あ信

でにが

あゆ誇

り

かり

غ

課月 人題 31 和 日 34 資 の年格 間 1 に月 生 1 れ日 たし 者 昭 。和 35 12

字つよた者 いりはの 政たてま へこのた のと感は 参な想迎 加ど、え ににまる

数 [〇〇字

委員

篇查県54代

動 選審 / 応詰に入佳入最び査切募原 作賞優

用作 より。近進運 す

の九々関るもり 城 感日に係よが登この け目 登さて然得性開感 とれにい 頂はな でって は発を 、は私 う 山の い忍の特山大有にい道 ŧ 山た今 ۲ びたに開い地 つが 後 雞 め強 きに を て で な思いてはいる。 (くした。 (くし、なので尽力) (ないた。) が家がの○邸まと 感 提 こはし式謝 ら行m線で願 **∌** └─ うべ ÷ かの ᆚ で自会の 保 札れ道 存残るの 振 青 にさが多 がてを 真 心れ止少 でき を 能 よ り田 のたち 徒 てニ 高ま返を新山歩 方 掛たむの

こ存じですか?

事業主の退職命制度 〈小規模企業共済〉

小規模企業共済制度は、いわば国が作った事業主の退職金 制度です。月々、掛金を払い込んでいただくことによって、 事業をやめたり、役員を退職したときなどの場合に法律で定 められた共済金が支払われます。将来にそなえて小規模企業 共済へのご加入をおすすめします。

● 制度の特色は

- ○掛金は所得控除 掛金は全額が小規模企業共済等掛金控 除として、そっくり課税対象から控除されます。また前 払いした1年以内の掛金も同様に控除されます。
- O共済金等は退職所得 共済金等は退職所得として取扱わ れますので、控除額が非常に大きくなっています。
- ○安全・確実 共済金額は法律によって定められており、 その支払いも政府が最後まで責任をもっておりますので 安全・確実です。
- ○貸付制度 一定の資格者には、その掛金の範囲内で即日 に貸付けが受けられる簡便な貸付制度があります。

● 加入できる方は

- ○常時使用する従業員が20人(商業とサービス業では5 人)以下の個人事業主および会社や企業組合・協業組合 の役員の方々です。
- ○ひとりで、あるいは家族だけで事業を営んでいる方、ま た目由業の方も加入できます。

● 毎月の掛金は

- ○毎月の掛金は、最高 30,000 円 (最低 1,000 円で 500 円 きざみ)までの範囲内で自由にきめて加入できます。
- ○加入後、掛金は増・減額ができます。また、掛金の前払 いもできます。

● お問合せは

この制度のくわしいことは、都道府県の商工担当課、事業 団と業務委託契約をしている中小企業関係団体(商工会連合 (q) 会・商工会、商工会議所、中小企業団体中央会など) または 金融機関へどうぞ。



大代るて子い成なきを事今供た者り けるこ 動共を明施味 -後大のはらせる 少と実設わ外 たよの を清 子まな動そ加 。い役地体掃がの 供す力にのいま機割域験奉ら楽 しなし等。にと地たた会をにで仕 っ域だ育と自おき活公さ

にはを

かわム

ったダ

てしな

いたく

るちど

か

う

つ

国際児童年記

念

し気活きか中子わ

の創

のにて ま人的工推欠 心使ルでせれ輸 いネ がうギすなか入の ル 整 イ

応げ冷祝

をて房日

送す 油約 が暮いの七民 時な通ン らる九割生 代ど動ド 省しわ九をす エをが・石べ へ国自日 ネ守国七油で のを粛曜 ルるに%での 対挙

ギたとをまエ

1めっ海かえ

手から

休業に 油 所 ご協力下 \bigcirc 日 I ネ 祝 日

作品募集

私 貯 金 の 絵 ァ 画 1 デ コ 7 ン ク 貯 金 箱

便は コイ ンデ クア

1 貯 ル金信 ′۰ ـــ の作品の作品の を郵で 次 のとおりとおんのとおりて、 り募集

の郵便局が属学校を通じれり十四日 お近

○ 賞 発

優秀作品 Z は 賞状及

> 応募者全員にお賞品を贈ります 贈りま g 参 加 賞ま をた

作 ☆ 品 私 の ァ)目分の創り に耐えら 材 1 もの。 にだし運 **ニンクー** 来 25 の だ 表 cm 。 し 運ル の以 も内

☆郵便 のののののののののののののののののののののののののののののののでは、 金にン 関クー のル ある

0)

3 ②郵便局(の外務員 外の 親又は 劵

郵 貯金会館

0

絵 貯金箱 画 類数 制一 限人 はあり、一点に ま限 せん 。す。

剣 道 開 設 教 室 を ま

す

毎

月

23

日

は

ふ

み

日

で

す

切です

ぶったことを気楽に書手紙は文芸作品では何になりがちです。 手紙は「面倒だ」-

書は

こ り

とが大

< あ Ę

つ

い筆不

ハンを取る習慣な飾らず、気取る

習慣をつけ気取らず、

け

(1) つ

た思

、 もので まま

ふ

旦

ヤ

ッ

チ

フ

レ

ズみ 入の

選作

딞 #

か

ъ

を、日本 あなたもや 0) スポ つツ てみませ を代表する N か。剣道

٤

いた

初手紙 あ いうえお おぼえた孫から だれでも美しい剣が走るいますが、正しい基本かい!」というイメージが剣道という言葉を聞くと

二度も三度も、出来る、親を (も 読を)

0) か よう ζ. み 0)

まだれ

良かも、なしかも、な

普段

り剣が走る様にしい基本からやり

・一通の手紙で ・一通の手紙で ・「元気です」 ・「元気です」 ・「元気です」 たより で 言 ዹ

心 ح \otimes た ょ () 便

手紙から ひ心 ろに が育 るつ の思 和い Þ 心り

◎場所

松代高校柔

年 剣

+生以上の男対道場り九時頃まで

午後七時半より

〇 日

す。尚教室開催日は次の通道教室に参加下さる様お願

毎週月曜日は

き方も良くなります

0) ころにっ紙はい 残いるな 手 もとに 人

ます。 (TEL七ー二〇一申し込み用紙は松代 でも っ<u>ー</u> 九門 とう でに鮮ま

昭和5年度

新 潟 県職員 採 用

初 試 験 内

0

€

9月 10 \Box

0 10 第 験月水 試日間 験日

試 種日 日)

0

11 事 務 B A

土 (専問・ 専問技術の業務に従喜へ・農業土木・林業の一路(男子) 事)

電 気

・交通巡視員(女子) 名となっています。 名となっています。 多験できます。 以上のうち任意の1点 以上のうち任意の1点 職種 人員 は K 限 り

昭和 33

4月 1 先日ま4 までに生 まか れら た昭 者和 37

0 申込み

新潟市 一 番 堀通

人館事内 事委員会事務局

さ ○ 部 部 は役場総務課 ^ おたず ła $\overline{\mathsf{F}}$

昭和54年度 行 政 お 書土試 知 験 世 **(**)

20 日 【 9月7 H

○受付期間 ○受験願書等提出先 ○受験願書等提出先 ○受験願書等提出先 課 行 政 第

す。

〇二五 五二 二五二 $\frac{\dot{\Xi}}{\Xi}$ 1 五 五

0 験場

潟市市 立営 居通 $\overline{\oplus}$ $\overline{2}$ 学校

さ **◎** い 詳 は 役場総務課へ おたずね下

す。